



平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビックカメラ
 コード番号 3048 URL <http://www.biccamera.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮嶋 宏幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 安部 徹 TEL 03-3987-8785
 四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日 配当支払開始予定日 平成24年5月21日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	262,352	△15.9	3,679	△65.5	4,723	△59.2	1,875	△63.7
23年8月期第2四半期	311,969	4.5	10,678	63.8	11,579	454.2	5,162	205.7

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 2,478百万円(△55.6%) 23年8月期第2四半期 5,583百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	1,091.68	—
23年8月期第2四半期	3,005.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	216,062	73,001	33.4
23年8月期	219,837	72,240	32.5

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 72,150百万円 23年8月期 71,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
24年8月期	—	500.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	500.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	△13.4	9,000	△54.8	11,000	△50.7	7,000	△22.7	4,075.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年8月期2Q	1,723,526株	23年8月期	1,723,526株
24年8月期2Q	5,966株	23年8月期	5,966株
24年8月期2Q	1,717,560株	23年8月期2Q	1,717,560株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成24年4月19日(木)に機関投資家、アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。その模様及び説明内容(音声)につきましては、決算説明資料とともに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
品目別売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成24年2月29日まで）におけるわが国経済は、企業収益や生産面で持ち直しの動きがみられたものの、海外景気や為替レート、原油価格の動向等の景気下振れリスクを含む不透明な状況で推移いたしました。

当家電小売業界におきましては、政府の家電エコポイント制度の変更による平成22年10月～11月の駆け込み需要の反動により、また、平成23年3月の同制度の終了及び同年7月の地上デジタル放送への完全移行（東北3県を除く）によりテレビが著しく低調で、家電エコポイント対象商品の冷蔵庫・エアコンも前年を大きく下回りました。この他、ブルーレイディスクレコーダー・オーディオは低調でしたが、スマートフォン等の移動体通信機器・LED照明機器・掃除機は好調に推移いたしました。

こうした状況下において、当社グループは「より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」を目指して、接客力・専門性の強化、店舗オペレーション、物流の効率化等に取り組む一方、持続的な成長に向け、法人営業や、通信販売等の新しいチャネルの強化に努めてまいりました。

店舗展開におきましては、平成24年2月16日に「ビックカメラ アウトレット有楽町店」を開店しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 2,623億52百万円（前年同期比 15.9%減）となり、営業利益は 36億79百万円（前年同期比 65.5%減）、経常利益は 47億23百万円（前年同期比 59.2%減）、四半期純利益は 18億75百万円（前年同期比 63.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 37億75百万円減少（前連結会計年度末比 1.7%減）し、2,160億62百万円となりました。主な要因は、商品及び製品の増加 43億22百万円があったものの、現金及び預金の減少 33億10百万円、売掛金の減少 10億86百万円、流動資産その他（主として未収入金）の減少 33億71百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ 45億36百万円減少（前連結会計年度末比 3.1%減）し、1,430億60百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加 53億90百万円、長期借入金の増加 23億29百万円があったものの、買掛金の減少 53億41百万円、未払法人税等の減少 39億80百万円、ポイント引当金の減少 13億58百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 7億61百万円増加（前連結会計年度末比 1.1%増）し、730億1百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当（純資産の減少）17億17百万円があったものの、四半期純利益（純資産の増加）18億75百万円、その他有価証券評価差額金の変動（純資産の増加）5億48百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ26億21百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には173億42百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は77億94百万円（前年同期は13億83百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益47億2百万円があったものの、たな卸資産の増加43億81百万円、仕入債務の減少53億41百万円、法人税等の支払額52億57百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は75百万円（前年同期は6億91百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億19百万円があったものの、定期預金の払戻による収入6億89百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は50億97百万円（前年同期は43億96百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額53億90百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,116	17,805
売掛金	18,520	17,433
商品及び製品	38,072	42,395
原材料及び貯蔵品	146	180
番組勘定	65	90
その他	24,072	20,701
貸倒引当金	△48	△111
流動資産合計	101,945	98,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,462	17,176
土地	39,068	39,068
その他(純額)	3,429	3,549
有形固定資産合計	59,960	59,794
無形固定資産		
投資その他の資産	14,338	14,235
投資その他の資産		
差入保証金	26,640	26,356
その他	17,113	17,420
貸倒引当金	△216	△273
投資その他の資産合計	43,536	43,502
固定資産合計	117,835	117,532
繰延資産	56	33
資産合計	219,837	216,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,380	31,039
短期借入金	23,324	28,714
1年内返済予定の長期借入金	15,255	14,954
1年内償還予定の社債	1,070	1,070
未払法人税等	5,444	1,464
賞与引当金	2,179	1,812
ポイント引当金	13,447	12,088
その他の引当金	116	195
その他	14,414	13,306
流動負債合計	111,632	104,645
固定負債		
社債	2,595	2,210
長期借入金	20,377	22,706
退職給付引当金	6,122	6,500
役員退職慰労引当金	43	16
資産除去債務	3,121	3,153
その他	3,704	3,827
固定負債合計	35,964	38,414
負債合計	147,596	143,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,402	18,402
資本剰余金	19,492	19,492
利益剰余金	33,969	34,126
自己株式	△184	△184
株主資本合計	71,679	71,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△234	313
その他の包括利益累計額合計	△234	313
少数株主持分	795	851
純資産合計	72,240	73,001
負債純資産合計	219,837	216,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	311,969	262,352
売上原価	232,693	198,329
売上総利益	79,276	64,022
販売費及び一般管理費	68,598	60,343
営業利益	10,678	3,679
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	230	271
負ののれん償却額	19	—
持分法による投資利益	175	25
受取賃貸料	440	457
受取手数料	484	463
その他	496	559
営業外収益合計	1,859	1,789
営業外費用		
支払利息	431	364
賃貸収入原価	282	270
その他	244	110
営業外費用合計	958	745
経常利益	11,579	4,723
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	4	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産除却損	29	20
投資有価証券評価損	12	—
減損損失	364	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,655	—
特別損失合計	2,062	20
税金等調整前四半期純利益	9,522	4,702
法人税、住民税及び事業税	4,748	1,321
法人税等調整額	△427	1,450
法人税等合計	4,320	2,771
少数株主損益調整前四半期純利益	5,201	1,930
少数株主利益	39	55
四半期純利益	5,162	1,875

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,201	1,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364	539
持分法適用会社に対する持分相当額	17	8
その他の包括利益合計	382	548
四半期包括利益	5,583	2,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,544	2,423
少数株主に係る四半期包括利益	39	55

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,522	4,702
減価償却費	1,569	1,572
減損損失	364	—
のれん償却額	291	134
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△28	119
賞与引当金の増減額(△は減少)	△144	△366
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△777	△1,358
退職給付引当金の増減額(△は減少)	386	377
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△27
その他の引当金の増減額(△は減少)	42	79
受取利息及び受取配当金	△243	△282
支払利息	431	364
為替差損益(△は益)	0	△0
持分法による投資損益(△は益)	△175	△25
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	29	20
投資有価証券評価損益(△は益)	12	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,655	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,964	1,086
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,935	△4,381
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,593	△5,341
その他	2,416	876
小計	5,789	△2,450
利息及び配当金の受取額	243	288
利息の支払額	△430	△374
法人税等の支払額	△4,218	△5,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,383	△7,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△118	—
定期預金の払戻による収入	758	689
有形固定資産の取得による支出	△831	△619
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△309	△376
投資有価証券の取得による支出	△434	—
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△253	△283
貸付金の回収による収入	134	350
差入保証金の差入による支出	△311	△111
差入保証金の回収による収入	834	426
連結子会社株式の取得による支出	△104	—
その他	△57	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△691	75

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,487	5,390
長期借入れによる収入	9,650	10,000
長期借入金の返済による支出	△8,170	△7,971
社債の発行による収入	—	147
社債の償還による支出	△565	△535
少数株主からの払込みによる収入	32	—
配当金の支払額	△1,710	△1,706
自己株式の取得による支出	△3	△1
リース債務の返済による支出	△131	△226
その他	△12	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,396	5,097
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,705	△2,621
現金及び現金同等物の期首残高	22,336	19,964
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	203	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,834	17,342

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

当社グループには、音響映像商品・家庭電化商品・情報通信機器商品等の物品販売事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高

品目別		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	16,969	6.5	△16.8
	テレビ	14,833	5.7	△69.3
	レコーダー・ビデオカメラ	11,652	4.4	△27.3
	オーディオ	8,723	3.3	△17.7
	A/Vソフト	3,372	1.3	△26.5
	その他	6,166	2.3	△21.2
	小計	61,719	23.5	△42.8
家庭電化商品	冷蔵庫	5,304	2.0	△24.3
	洗濯機	4,951	1.9	△0.7
	調理家電	6,345	2.4	3.4
	季節家電	7,626	2.9	△17.3
	理美容家電	9,279	3.5	△5.2
	その他	9,557	3.7	10.9
	小計	43,064	16.4	△5.9
情報通信機器 商品	パソコン本体	26,939	10.3	△8.6
	パソコン周辺機器	11,602	4.4	△15.4
	パソコンソフト	7,066	2.7	△9.3
	携帯電話	34,503	13.1	17.2
	その他	16,412	6.3	△3.3
	小計	96,524	36.8	△0.9
その他の商品	ゲーム	17,290	6.6	△5.5
	時計	6,758	2.6	3.1
	中古パソコン等	8,834	3.4	1.6
	スポーツ用品	2,425	0.9	△5.4
	玩具	3,606	1.4	7.9
	メガネ・コンタクト	2,130	0.8	△3.3
	酒類・飲食物	1,988	0.7	△4.1
	その他	14,322	5.5	△2.1
	小計	57,358	21.9	△1.7
物品販売事業		258,665	98.6	△16.4
その他の事業		3,686	1.4	38.9
合計		262,352	100.0	△15.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。